

節分の日

1月31日（火）の朝に、読み聞かせがありました。

ある教室では、節分にちなんだ本が紹介されるときに、ボランティアの方が「2月3日は何の日か知っていますか？」と子どもたちにたずねると、すかさず「恵方巻！」と答えが返ってきていました。私は豆まきのことを思い浮かべていたのですが、なるほど昨今はそうなのかと思いました。豆まきをする家庭も少なくなっているかもしれません。我が家では子どもたちが小さいうちは行っていましたが、いつしか豆を外でまくようになり、ついにはやらなくなって何年にもなります。恵方巻は食べています。

2月2日（木）に行われた節分集会では、クイズを通して「ワタナベさんの家では豆をまかなくてもよい」との話があり、初めて知ったので驚きました。一緒にテレビ集会を見ていた音楽専科教諭から、「渡辺綱という武将が、源頼光とともに鬼退治をしたから、鬼が恐れて近寄らない」と聞き、これまたなるほどと思いました。後日聞いたラジオの話では、鬼退治に加わった坂田金時も鬼から恐れられているので、サカタさんの家でも豆をまかなくてもよい、とのことでした。



2月1日（水）3年生が、社会科の昔の暮らしについての学習で、郷土資料館ボランティアの方から話を聞いていました。資料館にある昔の道具の使い方とともに、当時の暮らしの様子について詳しく話していただきました。

釜利谷小学校は校内に郷土資料館があり、ボランティアの方々が整備してくださって、昔の道具の実物を数多く見ることができ、さらに使い方など暮らしの様子のお話を聞かせていただくこともできる、大変恵まれた環境にあります。コロナ禍で途絶えていた、郷土資料館ボランティアの方にご協力いただく学習が再開でき、うれしい限りです。

